

いたのです。

不思議なご縁があるもので、昭和四十四年二月十三日に私が奈良ロータリークラブで卓話をする事になったときです。ある日、森本信一という人から手紙がきたのです。森本信一さんといえば私が放送したときのアナウンサーでしたので、お名前を忘れることはなかったのです。早速開いて見るとこういうことが書いてあったのです。

「今度奈良ロータリークラブで講演される中根正雄という先生は中根正世という先生と何かご縁故がありでしょうか、実は私が大阪中央放送局にかけ出しの勤務をしていたとき、速記講座で放送された中根正世先生のアナウンサーをしたことがあります。先生から著書までいただいておりますが、何かご関係が
おありでしょうか？」と書いてあるのです。実に四十年前のことであつて森本さんがどこにおられるか、ごぶさたはいたしておるもの、お名前だけは決して忘れないでいたのでびっくりしたのです。奈良ロータリークラブといえば奈良県第一の代表クラブですが、森本さんはそのクラブ員になつておられたのです。大阪放送局から奈良の支局長などになられ、奈良ロータリークラブの会員になつておられたのです。私は早速手紙をさしあげ、正世は本名で近年は正雄にかえている旨ご返事をさしあげたのでした。誠にどういふご縁があるかわからないです。その後はずっと年賀状もさしあげ、お世話になつていたのですが、一昨年亡くなられたのは誠に残念でした。惜しい人でした。